

令和7年9月25日

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社 淀川本部

木津川ダム総合管理所

渇水対策支部の解散について (高山ダム管理所)

独立行政法人水資源機構は、渇水対策を適切かつ円滑に行うことを目的として、8月7日に関西・吉野川支社淀川本部及び木津川ダム総合管理所に渇水対策本部を、高山ダム管理所に同支部を設置、9月2日に青蓮寺ダムに渇水対策支部を設置しました。また、その後も河川の必要水量を確保するため、ダムに貯留している水を継続的に放流してきました。

9月5日の台風15号によるまとまった降水や断続的な降水等により、高山ダムの貯水率が平年値である90%程度まで回復したことから、高山ダム管理所に設置していた渇水対策支部を9月24日9時に解散しましたのでお知らせします。

なお、青蓮寺ダムの貯水率は平年値を下回っていることから、引き続き、渇水対策本部・支部において適切な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪市政記者クラブ、
三重県政記者クラブ、名張市政記者クラブ

お問い合わせ先：(渇水対策支部の設置に関すること)

関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課長 尾島(おじま)○
総務課長 横江(よこえ)

電話：06-6763-5182(代表)

(青蓮寺ダムに関すること)

木津川ダム総合管理所 管理課長 常松(つねまつ)○
副所長 小林(こばやし)

電話：0595-64-8961(代表)

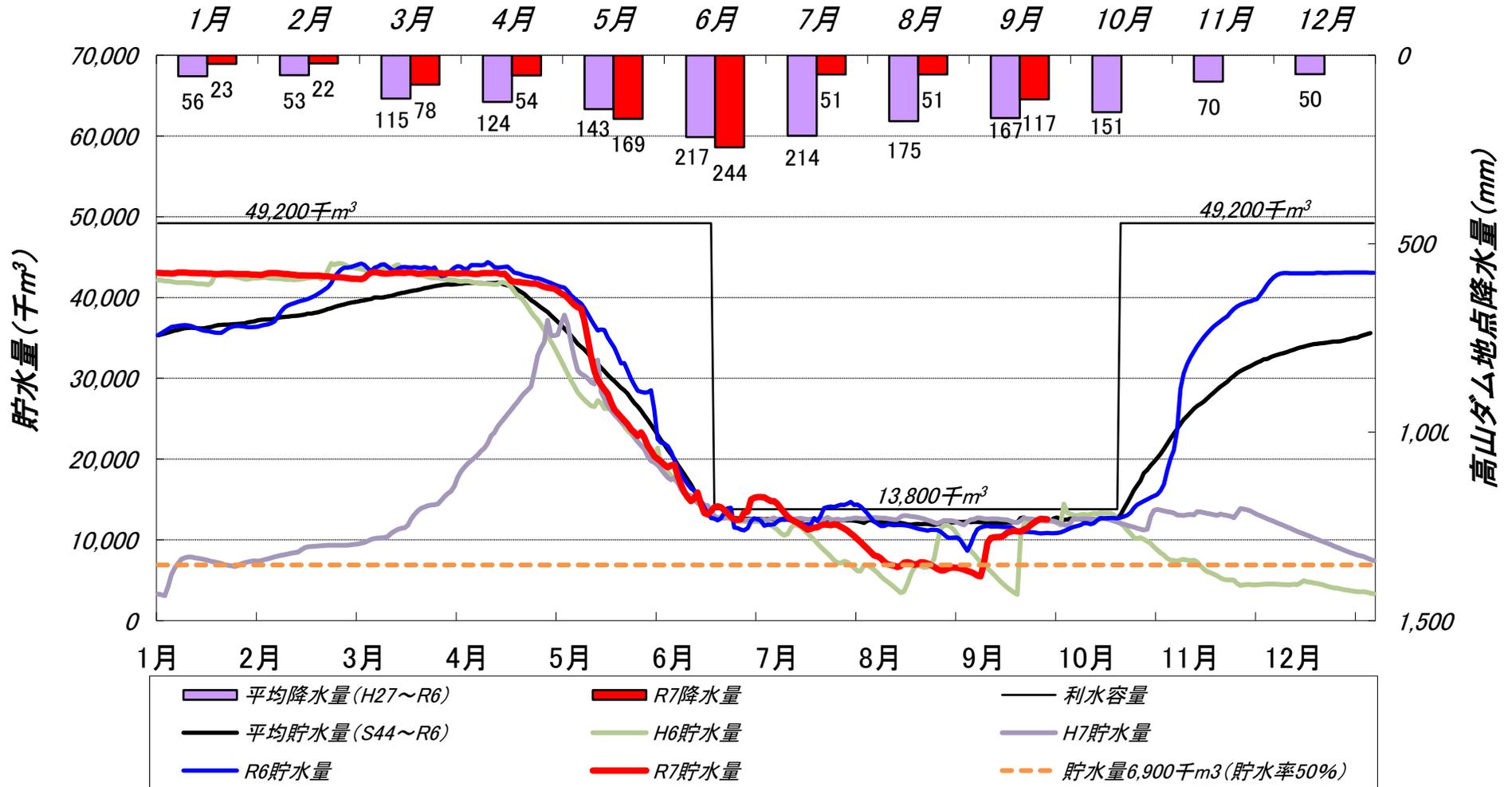
(参考資料)

令和7年 高山ダム貯水量曲線

1月-9月 平均降水量(ダム地点) 1,264 mm
1月-9月 R7降水量(ダム地点) 809 mm

令和7年9月24日現在

※9月の降水量は9/24時点まで



(参 考 資 料)

木津川ダム総合管理所管内各ダムの貯水量及び貯水率

令和7年9月24日 現在

ダム名	利水容量(千m ³)	貯水量(千m ³)	貯水率	平年の貯水率
高山ダム	13,800	12,556	91.0%	89.8%
青蓮寺ダム	15,400	13,787	64.5%	94.3%
室生ダム	6,550	6,370	97.3%	87.3%
布目ダム	9,000	8,300	92.2%	93.7%
比奈知ダム	9,400	5,784	61.5%	96.6%
川上ダム	14,800	11,694	79.0%	103.1%

※貯水量・貯水率は当該日の日平均値。

※平年の貯水率は、各ダムの管理開始から令和6年までの平均値。

高山ダム 渇水前後の状況



渇水時の貯水位状況

(令和7年9月4日 標高110.21m 貯水率39.9%)

回復後の貯水位状況

(令和7年9月23日 標高116.12m 貯水率91.2%)

木津川ダム総合管理所の概要



【布目ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F NW
 堤体積：約331千m³
 堤高：72.0m
 堤頂長：322.0m
 流域面積：75km²
 湛水面積：0.95km²
 管理開始：平成4年4月
 所在地：奈良県奈良市

【室生ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F NW
 堤体積：約153千m³
 堤高：63.5m
 堤頂長：175.0m
 流域面積：169km²
 (直接136km²、間接33km²)
 湛水面積：1.05km²
 管理開始：昭和49年4月
 所在地：奈良県宇陀市

【青蓮寺ダム諸元】

型式：アーチ式コンクリートダム
 目的：F NAWP
 堤体積：約175千m³
 堤高：82.0m
 堤頂長：275.0m
 流域面積：100.0km²
 湛水面積：1.04km²
 管理開始：昭和45年7月
 所在地：三重県名張市

【高山ダム諸元】

型式：アーチ重力式コンクリートダム
 目的：F NWP
 堤体積：約214千m³
 堤高：67.0m
 堤頂長：208.7m
 流域面積：615.0km²
 湛水面積：2.6km²
 管理開始：昭和44年8月
 所在地：京都府相楽郡南山城村

【川上ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F NW
 堤体積：約456.0千m³
 堤高：70.5m
 堤頂長：334.0m
 流域面積：54.7km²
 湛水面積：1.04km²
 管理開始：令和5年4月
 所在地：三重県伊賀市

【比奈知ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F NWP
 堤体積：約430.0千m³
 堤高：70.5m
 堤頂長：355.0m
 流域面積：75.5km²
 湛水面積：0.82km²
 管理開始：平成11年4月
 所在地：三重県名張市

記号	目的
F	洪水調節
N	流水の正常な機能の維持
A	かんがい用水
W	水道用水
P	発電

高山ダム の概要

■ ダムの諸元

ダム型式 : アーチ重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約213.9千m³
 堤高 : 67.0m
 堤頂長 : 208.7m
 湛水面積 : 2.6km²
 流域面積 : 615.0km²
 管理開始 : 昭和44年8月

■ ダムの目的

1. 洪水調節

下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量3,400m³/sのうち1,600m³/sをダムに貯留し、1,800m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として阪神地区に最大5.0m³/sを供給する。

4. 発電

関西電力が設置した高山発電所で、最大出力6,000kWの発電を行う。(最大使用水量14m³/s)



■ 貯水池容量配分図

